

瀬戸内タウンミーティング（笠加地区）

平成 21 年 11 月 10 日（火） 19 時～21 時

笠加コミュニティセンター ホール

参加者：男性 10 人、女性 1 人、計 11 人

市民から出た意見と市長の反応

- ・収入を上げるためには企業誘致や観光で地元にお金を落としてもらうことが必要。ブルーラインのインターチェンジや JR の駅など、瀬戸内市の玄関口が寂しいので、看板などを整備し市のイメージを目立たせるようにしたらどうか。
- ・3 町の魅力が相殺されているように思う。牛窓は標識などがヨットの形になっているが、邑久、長船は何の変哲も無い。また、駅などのトイレをきれいにしておかないとだめ。
- ・瀬戸内市のバルーンフェスティバルは景色がとてもきれいなのに止めたのは残念である。市の魅力につながるいいことは残していくべきだ。

- ・市民病院を特色あるものにしてほしい。
- ・市民病院は赤字ではないのか。
- ・高齢になるとすぐ行ける病院がほしい。

(市長) 現行の市民病院は昭和 46 年に建設されたもので、耐震化ができていない。古い建物なので新しい医療機器を入れられない。建替えを考えないと今後市民病院を残していくことはできない。新しい建物、新しい医療機器がある病院であれば医師も集めやすいが、古くなれば同じ問題が発生する。市民のニーズにあった医療サービスを提供できるようにするため、アンケートを実施して結果を見て、今後どうするか判断したい。

公立病院は、赤字になる分野を受け持っていることから国からお金が下りてくるため、赤字ではない。

車に乗れる人は岡山の病院に行けるが、車に乗れなくなると近い病院がいいという意見が多くなる。多数決では難しい問題だが、あまり時間がないので早めに判断していきたい。

- ・計画素案はお金のかかることが多く書いてある。人口減も見えているので、安定した収入の確保が必要。

(市長) お金のことを考えると何もアイデアが出てこないから、この素案をつ

くるときにはお金のことは考えていない。ただ、将来の世代に対して責任を持つことが必要。将来の市民の観点を盛り込んで計画をまとめたい。

- ・北池に住んでいるが、高齢者の一人暮らしや高齢者夫婦の世帯が増えてきている。また空き家が増えていて、対策が必要と感じている。
- ・牛窓では空き家を貸して住んでもらうという取り組みをしているが、空き家の家主がよそ者に貸したくない、ということで空き家がそのままになっている問題がある。田舎の「よそ者を拒絶する」意識を変えていかなくてはいけない。

(市長) 一人暮らし、二人暮らしを支える仕組みづくりをこれから取り組んでいきたい。一つの集落だけでなく、隣の集落とどう連携していくかがポイントだと思う。

牛窓のだんじりでは、集落の子どもが少ないので隣の集落から子どもに来てもらって祭りを続けている。このような取り組みが必要であり、市役所がどのようにお手伝いできるか考えたい。

- ・豆田の工業団地に立地している企業へ地元の高校生など若い人が就職しやすくなるように働きかけてほしい。働く場所があっても採用されなければ意味がない。

(市長) 地元雇用についてはこれまでも誘致の際にお願いをしてきた。今後も引き続きお願いしていく。また優秀な労働力が集まるところは企業も注目して立地したいと考えるので、優秀な人材を育てていくことも必要。企業誘致については、豆田の団地が1区画残っているのでそこを売り切ってから他の地域への誘致を考えていく。

地元でがんばっている事業者を育てることも大切。また、NPOなどの新しい仕事のあり方も育てていけるようにしたい。

- ・県内で「瀬戸内市はここがいい」といった、誇れるまちであれば自然と人がやってくると思う。イメージが重要。

(市長) 兵庫県芦屋市では「芦屋に住んでいる」＝「お金持ち」というイメージが定着している。瀬戸内市のいいイメージのPRを上手にやっていきたい。また市民のみなさんにも力を貸してほしい。

- ・店が閉まるのが早い。

- ・コミュニティから西側の市道が狭く、拡幅のお願いをしたが、予算が無くて

工事が途中でとまっている。何とか進めてほしい。また市道が狭いために農道に多くの車が流れて、道路が傷んでいる。管理するのも大変なので市道に格上げしていただいて、市での管理をお願いしたい。

(市長) 来年度、どうにか進められるようにしたい。

- ・人口と世帯数を見ると不安が多い。緊急車両が通れなかったせいで命が危険に晒されたとか、火災などの被害がひどくなったということの無いように、緊急車両が通れるように道路整備をしてほしい。